

～本の紹介～

『エコノミック・ヒットマン 途上国を食い物にするアメリカ』

ジョン パーキンス著

東洋経済新報社（2007年）

2004年に元工作員のジョン・パーキンスは「経済的なヒットマン（殺し屋）の告白」を書いた。米国は債務を利用してわざと貧しい国々を支配していると告発した。日本語版は出版された（東洋経済新報社）。パーキンスはDemocracy Nowというテレビ番組に出て貧しくさせられた国々の債務返済は貧しくさせられた国々の健康予算あるいは教育予算を上回るし、毎年海外からもらう援助の2倍になると言っていた。現在貧しくさせられた国々の債務の全体金額は約\$3兆。



※ パーキンスが出演した Democracy Now の DVD（日本語字幕）を買ったので見たい方に無料で貸し出中。（送料だけ頂きます。）

[お問い合わせフォーム（こちら）](#) からご連絡ください。